

## 変更後の認定事業適応計画の概要の公表

### 1. 変更認定をした日付

令和5年5月31日（令和4年10月20日認定）

### 2. 変更後の認定事業適応事業者の名称

CST株式会社

### 3. 変更後の認定事業適応計画の内容

#### (1) 事業適応に係る事業の目標

近年、地球温暖化が進行しており、その対策は国際的にも極めて重要な課題である。我が国でも、昨年の地球温暖化対策推進法の改正や、第6次エネルギー基本計画の閣議決定などにより、2050年のカーボンニュートラル達成を目指し、2030年までに、エネルギーミックスにおける再生可能エネルギーの割合を大幅に拡大させる政策を行っている。

当社も、その取り組みに全面的に賛同し、当社の2050年カーボンニュートラルの達成に向け、①企業としての価値を高めて行くべく、また、②当社の活動時に排出されるCO<sub>2</sub>を減少させていくことで付加価値の創出と環境への負荷低減を両立させていく。

#### (2) その事業の生産性を相当程度向上させること又はその生産し、若しくは販売する商品若しくは提供する役務に係る新たな需要を相当程度開拓することを示す目標

2022年度より事業適応を開始し、2024年度（目標年度）までに、当社江刺工場の炭素生産性を18.1%向上することを目標とする。

#### (3) 財務内容の健全性の向上を示す目標

2024年度（目標年度）に経常利益を計上することを目標とする。

#### (4) 事業適応の類型

エネルギー利用環境負荷低減事業適応

#### (5) 計画の対象となる事業（日本標準産業分類における中分類名称及びその分類コード）

電子部品・デバイス・電子回路製造業（28）

#### (6) 事業適応の具体的内容

計画初年度に、江刺工場（岩手県奥州市江刺岩谷堂字松長根30番地）に、自家消費型太陽光発電設備を設置し、購入している電力の一部を自社で発電した太陽光発電電力に切り替えることで、電力使用に伴うCO<sub>2</sub>排出量を減少させて炭素生産性15.9%の向上を目指す。

2023年度（計画2年目）においては、具体的な設備導入の予定はなく、計画初年度に導入し

た設備によって二酸化炭素の排出削減を図り、引き続き付加価値の創出と環境負荷低減の両立を図っていき、江刺工場の炭素生産性15.0%の向上を目指す。

2024年度（目標年度）においても、具体的な設備導入の予定はなく、計画初年度に導入した設備によって二酸化炭素の排出削減を図り、引き続き付加価値の創出と環境負荷低減の両立を図っていき、江刺工場の炭素生産性18.1%の向上を目指す。

(7) 事業適応の開始時期及び終了時期

開始時期2022年12月、終了時期2025年3月